

九州の若者 除雪お助け

盛岡市のNPO法人いわてGINGAINET(八重樫綾子代表)は4日までの5日間、高校生や大学生を対象に、西和賀町で除雪ボランティアなどを通じ地域を知るプログラムを行っている。福岡、熊本両県から参加し、岩手での経験を九州の復興支援に役立てようという学びを深めている。

(第3種郵便物認可)

福岡県の久留米大4年の復興支援のため同法人が黒肥地達哉さん(22)、熊本県学生を派遣した縁で、今回県立大2年の岩奥礼奈さん(20)と同大1年の坂本菜々子さん(19)が参加。本県の17年に起きた九州北部豪

高校生25人と学生7人も加雨の被災地などで支援を続わっている。2日は、同町ける黒肥地さんは「(現地沢内長瀬野地区を訪問。ス)復興は全然進んでいないノバスターズとして、空いと思う。支援も発生当初き家の屋根や壁に積もったよりかなり減った」と明か雪を協力して取り除いた。す。「岩手は学生ボランティア

ホームステイし住民との交流も楽しみ、西和賀の文化を肌で感じている。

2016年の熊本地震の

盛岡のNPO法人 西和賀で企画

熊本地震きっかけ、参加



除雪に励む(左から)黒肥地達哉さん、岩奥礼奈さん、坂本菜々子さん

「アへの支援が手厚いと感設住宅でサロン活動を行じる」と、受け入れ態勢にう。岩奥さんは「家が雪に埋まるほどの光景は初めて

岩奥さん、坂本さんは大で驚いた。大変さと同時に雪と共存する暮らしを知る属し、熊本地震被災地の仮ことができた」、坂本さん

は「今回の経験を生かし、地域に寄り添うボランティアの在り方を考えたい」と学びを深めている。

古里復興へ支援学ぶ